

# 第2次新潟市下水道中期ビジョン

「第2次新潟市下水道中期ビジョン（2019～2028年度）」を策定しました。

## 下水道事業のこれから

下水道には、さまざまな役割があります。この図では、私たちの暮らしと切り離せない下水道と「下水道中期ビジョン」で示した5つの施策との関係を表しています。

**施策1** 下水道施設の機能確保と計画的な改善

施設を大切に管理し、安心して使えるようにします。

【管渠改善延長】  
2018年度 2023年度 2028年度  
18.5km ⇒ 49.0km ⇒ 84.0km

【処理場・ポンプ場主要設備健全率1割合】  
8% ⇒ 10% ⇒ 5%

**施策2** 雨に強い都市づくり

新潟のまちを  
浸水被害から守ります。

【浸水対策率】  
2018年度 2023年度 2028年度  
72.6% ⇒ 77.4% ⇒ 79.2%

**施策3** 地震・津波対策の推進

地震や津波が起っても  
下水道が使えるようにします。

【耐震化率】  
2018年度 2023年度 2028年度  
管渠：37.7% ⇒ 57.4% ⇒ 77.2%  
施設：40.0% ⇒ 46.4% ⇒ 57.1%

**施策4** 総合的な汚水処理の推進  
・合流式下水道の改善

良好な水環境と  
快適な暮らしを支えます。

【汚水処理人口普及率】  
2018年度 2023年度 2028年度  
88.7% ⇒ 89.3% ⇒ 90.0%

**財政・人材・広報**

持続可能な下水道運営を支えます。(経営の効率化)

【企業廃棄物および削減額累計】  
2018年度 2023年度 2028年度  
3,213億円 ⇒ 2,995億円(△218億円) ⇒ 2,714億円(△499億円)

下水道部

# 新潟市の下水道事業

## ● 下水道の全体計画

|      | 処理区 | 計画面積 (ha) | 計画人口 (千人) |
|------|-----|-----------|-----------|
| 単独   | 船見  | 466       | 29.0      |
|      | 中部  | 4,384     | 216.0     |
|      | 白根  | 931       | 24.6      |
| 流域関連 | 東部  | 5,327     | 177.0     |
|      | 新津  | 2,182     | 63.3      |
|      | 北部  | 2,925     | 63.4      |
|      | 西部  | 4,086     | 107.5     |
|      | 計   | 20,301    | 680.8     |
| 単独特環 | 島見  | (57)      | (2.3)     |



新潟市下水道キャラクター  
**水玉ぼうし**



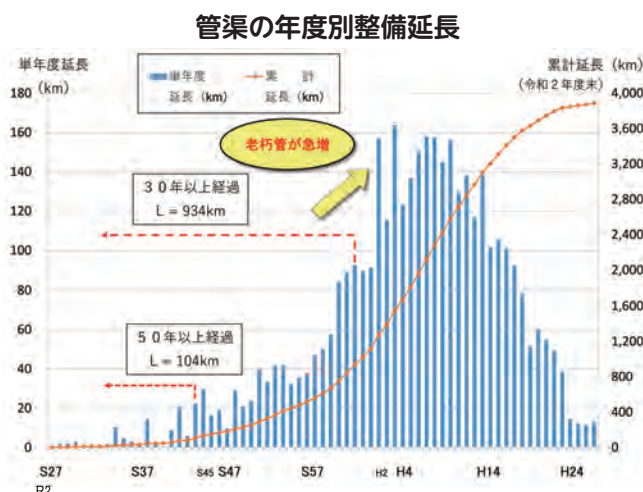
名前には、下水道の大切な役割である「川や海の汚れをぼうしする」「大雨による被害をぼうしする」という意味が込められています。

# 下水道施設の機能確保

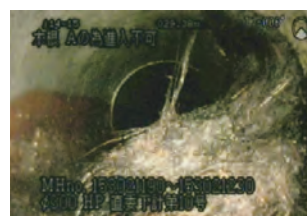
管渠・処理場・ポンプ場などの下水道施設の機能を確保しながら、市民生活を守る下水道を目指します。

## ●下水道施設の計画的な改築

- 下水道施設を計画的かつ効率的に管理・運用するために、ストックマネジメント計画を策定しました。
- ストックマネジメント計画に基づく点検・調査の実施により、下水道施設の劣化状況を把握し、予防保全としての修繕および改築を実施します。



管の破損



管内詰まり (木根侵入)

# 雨に強い都市づくり

市民の安心・安全な暮らしを守るため、下水道施設の整備を進めるとともに、自助・共助の強化を含む総合的な浸水対策により浸水被害の軽減を目指します。

## ●雨水施設の整備

### 白根水道町ポンプ場



- 白根水道町ポンプ場は、新潟市南区の白根第1排水区の浸水対策として整備を進めてきました。
- 排水能力は、1秒間に11.70m<sup>3</sup>の雨水を中ノ川へ排水します。
- 平成23年度に工事着手し、平成30年度に供用を開始しました。

## ●雨水流出抑制対策

### 宅地内の雨水流出抑制



- 公共施設に雨水貯留浸透施設を設置するとともに、助成制度を設け、市民と行政が一体となった雨水流出抑制対策を進めています。
- これまでに、約60,800基の雨水浸透マスと約3,900基の雨水貯留タンクを宅地内に設置していただいています。

# 雨に強い都市づくり

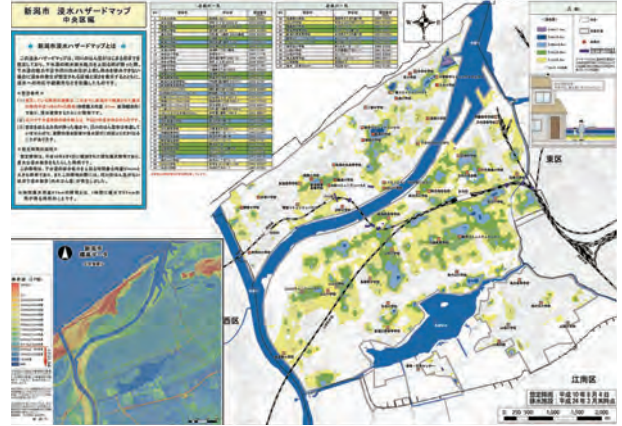
## ●自助対策への支援

### 防水板設置等工事助成制度



- 防水板設置等工事助成制度や住宅かさ上げ工事助成制度、駐車場かさ上げ工事助成制度を設け、市民が自ら行う浸水対策への支援を進めています。

### 浸水ハザードマップ（中央区）



- 防災意識の向上と浸水被害の軽減を目的に、北区、中央区、東区、江南区、秋葉区、南区、西区において、浸水ハザードマップを作成しました。

# 地震・津波対策の推進

地震による下水道施設への被害を未然に防ぎ、住民生活への影響の最小化を図るため、防災対策と併せて減災対策を推進し、生活基盤である下水道の機能・信頼性の向上を目指します。

## ●下水道施設の耐震化



プラスチック材による  
管渠内の内面被覆



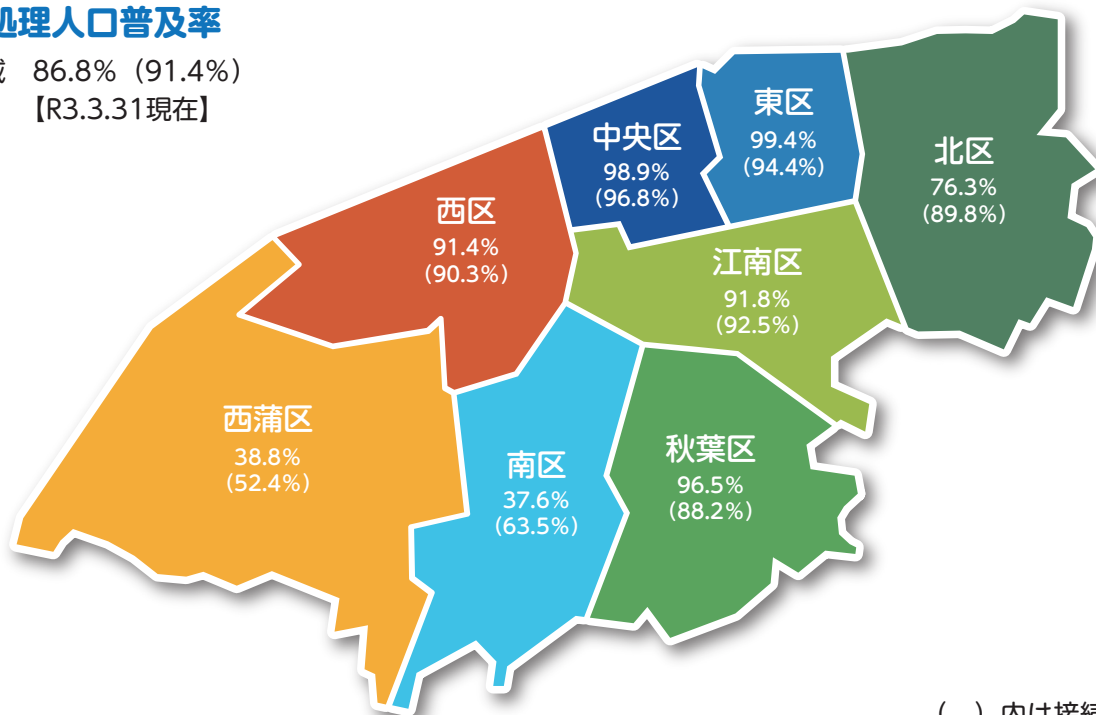
処理場管理本館に  
鉄骨ブレース設置

## 総合的な汚水処理の推進

衛生的で快適な生活の確保を目指し、下水道や合併処理浄化槽による総合的な汚水処理施設の整備を行います。

### ●下水道処理人口普及率

新潟市全域 86.8% (91.4%)  
【R3.3.31現在】



( ) 内は接続率

## 下水道資源の有効利用

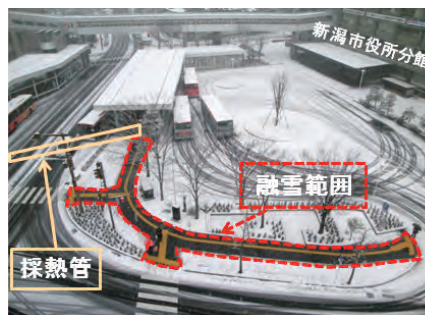
低炭素型都市づくりの構築や下水処理場に必要エネルギーを確保するため、下水道が有する資源・エネルギーの活用・再生に取り組みます。

### ●消化ガス発電の導入



○中部下水処理場において、平成24年度から消化ガス発電を開始しており、発電量の増加に向けて、下水汚泥と刈草などの未利用バイオマスとの混合消化に取り組むなど、下水道施設における再生可能エネルギーの活用を積極的に進めています。

### ●下水熱利用の推進



○融雪設備の低コスト・高効率化を図ります。  
○車道融雪に関するガイドライン化を進め、適用範囲を拡大することで全国への普及拡大に貢献します。